

平成 30 年 度

岡 山 市 病 院 事 業 会 計
決 算 審 査 意 見 書

岡 山 市 監 査 委 員

岡 監 第 1 0 2 号
令和元年7月31日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山市監査委員	岸	堅	士
同	土	居	幸 徳
同	赤	木	一 雄
同	高	橋	雄 大

平成30年度岡山市病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成30年度岡山市病院事業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審 査 の 対 象	1
第2	審 査 の 実 施 場 所 及 び 期 間	1
第3	審 査 の 着 眼 点 及 び 方 法	1
第4	審 査 の 結 果	1
1	業 務 の 概 要	2
2	予 算 の 執 行 状 況	2
3	経 営 成 績	4
4	財 政 状 態	6
5	む す び	10
	資 料	11

- (注) 1 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中の比率及び各表中、グラフ中の数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- 3 文中に用いるポイントとは、パーセンテージ間又は指数間の単純差引数値である。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」・・・該当数値はあるが、単位未満のもの
「－」・・・算出不能、該当数値のないもの

平成 30 年度岡山市病院事業会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 30 年度岡山市病院事業会計決算

第 2 審査の実施場所及び期間

監査委員室

令和元年 6 月 7 日から

令和元年 7 月 31 日まで

第 3 審査の着眼点及び方法

審査に当たっては、岡山市監査基準に準拠し、市長から審査に付された平成 30 年度岡山市病院事業会計決算並びに証書類、事業報告書及び政令で定めるその他の書類が関係法令に準拠して作成されているか、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかについて審査するとともに、関係者からの説明を聴取し、会計帳票等証書類との照合及び経営内容の動向を把握するため計数の分析を行い、年次比較等の検討を加えた。

第 4 審査の結果

決算並びに事業報告書及び政令で定めるその他の書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、会計帳票等証書類と照合審査の結果、計数は正確であり、かつ、本年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

なお、決算概要及び審査意見は、次のとおりである。

1 業務の概要

岡山市病院事業会計は、国立病院機構岡山市立金川病院の建物等の減価償却の費用計上、建物の維持管理に伴う経費負担や経年劣化に伴う修繕の実施、企業債の元利償還及び決算処理を行う目的で設置されたものである。

国立病院機構岡山市立金川病院は、平成 24 年度から指定管理者制度を導入し、独立行政法人国立病院機構が管理運営を行っている（指定管理期間：平成 24 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）。

同病院は、内科，外科，眼科，皮膚科，リハビリテーション科の 5 科，病床数 30 床の体制で、救急告示病院にも指定されている。

(1) 業務実績

国立病院機構岡山市立金川病院は、利用料金制による指定管理者制度により独立行政法人国立病院機構が運営を行っているため、岡山市病院事業としての業務実績はない。

(2) 建設改良事業

本年度の建設改良事業はない。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。（資料第 1 参照）

収益的収入及び支出の予算執行状況

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	執 行 率 B/A	予算額に比し 増、減(△) 又は不用額
	円	円	%	円
収 益 的 収 入	33,705,000	31,755,828	94.2	△ 1,949,172
収 益 的 支 出	51,488,000	49,548,639	96.2	1,939,361

(注) 決算額のうち、収益的収入における仮受消費税及び地方消費税は 0 円、収益的支出における仮払消費税及び地方消費税は 22,304 円である。

収益的収入決算額 3,175 万円は、予算額 3,370 万円に対し 94.2%の執行率、収益的支出決算額 4,954 万円は、予算額 5,148 万円に対し 96.2%の執行率となっている。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。(資料第2参照)

資本的収入及び支出の予算執行状況

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	執 行 率 B/A	予算額に比し 増, 減 (△) 又は不用額
	円	円	%	円
資本的収入	23,894,000	20,893,169	87.4	△ 3,000,831
資本的支出	23,894,000	20,893,169	87.4	△ 3,000,831

(注) 決算額のうち、資本的収入における仮受消費税及び地方消費税並びに資本的支出における仮払消費税及び地方消費税は0円である。

資本的収入決算額 2,089 万円は、予算額 2,389 万円に対し 87.4%の執行率、また、資本的支出決算額 2,089 万円は、予算額 2,389 万円に対し 87.4%の執行率となっている。

(3) 建設改良費の翌年度繰越額

建設改良費の翌年度繰越額は、該当がない。

3 経営成績

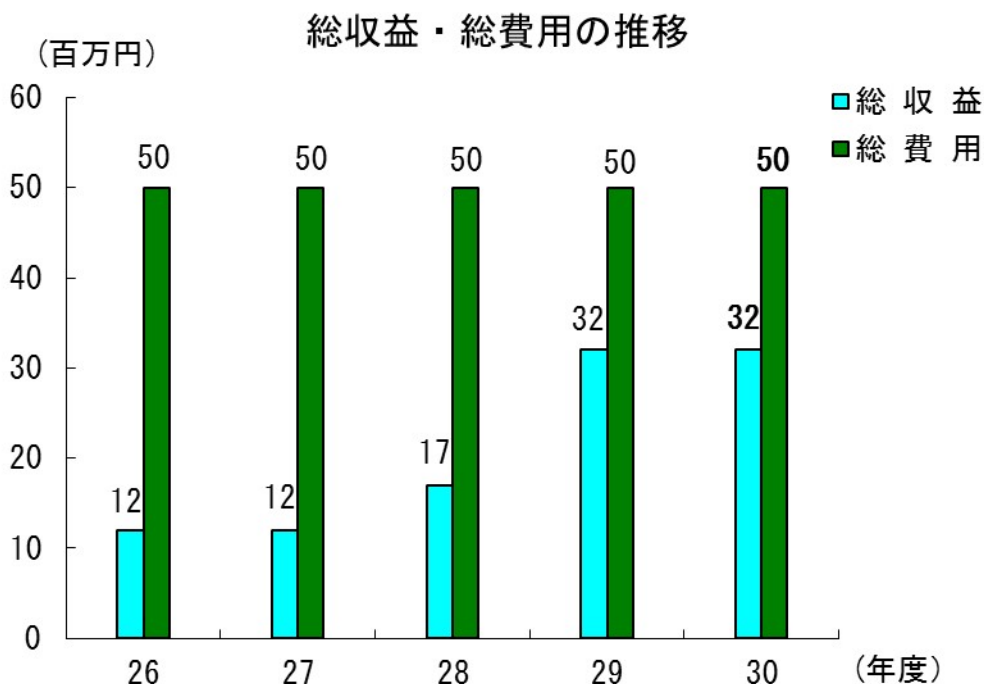
(1) 総合成績

総合成績は、次表のとおりである。(資料第3参照)

総合成績

年度	総収益			総費用			損益(△損失) A - B	総収支比率 A / B
	金額 A	前年度比	指数	金額 B	前年度比	指数		
	円	%		円	%		円	%
26	11,574,217	97.0	100	50,405,865	97.0	100	△ 38,831,648	23.0
27	11,761,083	101.6	101.6	49,852,541	98.9	98.9	△ 38,091,458	23.6
28	16,599,414	141.1	143.4	49,921,419	100.1	99.0	△ 33,322,005	33.3
29	31,809,505	191.6	274.8	50,215,758	100.6	99.6	△ 18,406,253	63.3
30	31,755,828	99.8	274.4	49,548,639	98.7	98.3	△ 17,792,811	64.1

(注) 指数は平成26年度を100として算出。



総収益は3,175万円で、前年度に比べ5万円(0.2%)の減収となり、総費用は4,954万円で、前年度に比べ66万円(1.3%)の減費となっている。その結果、総収支比率は64.1%を示し、1,779万円の純損失を生じ、当年度未処理欠損金(累積欠損金)は2億3,197万円となっている。(資料第4参照)

(2) 経常収支

経常収支は、次表のとおりである。(資料第3参照)

経 常 収 支

科 目	30 年 度		29 年 度		増, 減 (△) C (A - B)	増減率 C / B
	金 額 A	構 成 比	金 額 B	構 成 比		
	円	%	円	%	円	%
医 業 収 益	324,810	1.0	209,987	0.7	114,823	54.7
その他医業収益	324,810	1.0	209,987	0.7	114,823	54.7
医 業 外 収 益	31,431,018	99.0	31,599,518	99.3	△ 168,500	△ 0.5
受取利息及び配当金	12	0.0	7	0.0	5	71.4
負担金交付金	10,537,837	33.2	10,899,284	34.3	△ 361,447	△ 3.3
長期前受金戻入	20,893,169	65.8	20,700,227	65.1	192,942	0.9
経 常 収 益 計	31,755,828	100	31,809,505	100	△ 53,677	△ 0.2
医 業 費 用	35,175,095	71.0	35,489,263	70.7	△ 314,168	△ 0.9
経 費	302,506	0.6	196,174	0.4	106,332	54.2
減価償却費	34,872,589	70.4	34,872,589	69.4	0	0
資産減耗費	0	0	420,500	0.8	△ 420,500	△ 100
医 業 外 費 用	14,373,544	29.0	14,726,495	29.3	△ 352,951	△ 2.4
支払利息及び 企業債取扱諸費	10,537,849	21.3	10,899,291	21.7	△ 361,442	△ 3.3
長期前払消費税償却	3,813,391	7.7	3,813,391	7.6	0	0
雑 支 出	22,304	0.0	13,813	0.0	8,491	61.5
経 常 費 用 計	49,548,639	100	50,215,758	100	△ 667,119	△ 1.3
経 常 損 益	△ 17,792,811	/	△ 18,406,253	/	613,442	△ 3.3

経常収益は3,175万円で、前年度に比べ5万円(0.2%)の減収、経常費用は4,954万円で、前年度に比べ66万円(1.3%)の減費で、経常損益は1,779万円の損失となっている。

経常収益の減収は、主に企業債利息償還に対する一般会計繰入金である負担金交付金が減少したためである。

経常費用の減費は、主に資産減耗費が皆減したためである。

(3) 特別損益

特別損益は、該当がない。

4 財政状態

(1) 資産、負債及び資本

要約比較貸借対照表は、次表のとおりである。(資料第4参照)

要約比較貸借対照表

科 目	30年度末現在		29年度末現在		増、減(△) C (A - B)	増減率 C / B
	金 額 A	構成比	金 額 B	構成比		
	円	%	円	%	円	%
固定資産	774,001,250	100.0	812,687,230	100.0	△ 38,685,980	△ 4.8
流動資産	300,000	0.0	300,000	0.0	0	0
資産合計	774,301,250	100	812,987,230	100	△ 38,685,980	△ 4.8
固定負債	564,753,131	72.9	586,014,122	72.1	△ 21,260,991	△ 3.6
流動負債	21,560,991	2.8	21,193,169	2.6	367,822	1.7
繰延収益	51,750	0.0	51,750	0.0	0	0
負債合計	586,365,872	75.7	607,259,041	74.7	△ 20,893,169	△ 3.4
資本金	419,892,157	54.2	419,892,157	51.6	0	0
剰余金	△ 231,956,779	△ 30.0	△ 214,163,968	△ 26.3	△ 17,792,811	8.3
資本合計	187,935,378	24.3	205,728,189	25.3	△ 17,792,811	△ 8.6
負債・資本合計	774,301,250	100	812,987,230	100	△ 38,685,980	△ 4.8

ア 資産

資産の総額は7億7,430万円で、前年度末に比べ3,868万円(4.8%)減少している。これは、固定資産の減少によるもので、主に、減価償却により建物が2,779万円(4.9%)、構築物が708万円(19.5%)減少したためである。

流動資産は30万円で、前年度末と同額である。

イ 負債

負債の総額は5億8,636万円で、前年度末に比べ2,089万円(3.4%)減少している。これは、流動負債は36万円(1.7%)増加したが、固定負債が2,126万円(3.6%)減少したことによるものである。

ウ 資本

資本の総額は1億8,793万円で、前年度末に比べ1,779万円(8.6%)減少している。これは、剰余金の減少によるものである。

資本金は4億1,989万円で、前年度末と同額である。

エ 財務比率

財務比率は、次表のとおりである。(資料第5参照)

財 務 比 率

分 析 項 目	30 年 度	29 年 度	算 式
固定資産対長期資本比率 (望ましい比率 100%以下)	% 102.8	% 102.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
流 動 比 率 (望ましい比率 200%以上)	1.4	1.4	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
当 座 比 率 (望ましい比率 100%以上)	1.4	1.4	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$

固定資産対長期資本比率は、前年度末に比べ0.2ポイント低下し102.8%となっている。
流動比率及び当座比率は、前年度末と同率である。

(2) 企業債

企業債残高の状況は、次表のとおりである。

企 業 債 残 高

年 度	前年度末残高 A	増 加 高 (借入額)	減 少 高 (償還額)	増, 減 (△) 差引増減高 B	増減率 B/A	年度末残高
	円	円	円	円	%	円
26	633,922,244	0	422,244	△ 422,244	△ 0.1	633,500,000
27	633,500,000	0	594,522	△ 594,522	△ 0.1	632,905,478
28	632,905,478	0	5,466,460	△ 5,466,460	△ 0.9	627,439,018
29	627,439,018	0	20,531,727	△ 20,531,727	△ 3.3	606,907,291
30	606,907,291	0	20,893,169	△ 20,893,169	△ 3.4	586,014,122

本年度末の企業債残高は5億8,601万円で、前年度に比べ2,089万円(3.4%)減少している。また、利子負担率は1.8%となり、前年度と同率である。(資料第5参照)

(3) 一般会計からの繰入金

一般会計からの繰入金は、次表のとおりである。

一般会計からの繰入状況

区 分		30 年度 A	29 年度 B	増, 減 (△) C (A - B)	増減率 C / B
病院事業収益	金川病院管理負担金	円 324,810	円 209,987	円 114,823	% 54.7
	企業債利息償還額負担金	10,537,837	10,899,284	△ 361,447	△ 3.3
収益的収入計		10,862,647	11,109,271	△ 246,624	△ 2.2
病院事業資本的収入	企業債元金償還額負担金	20,893,169	20,531,727	361,442	1.8
資本的収入計		20,893,169	20,531,727	361,442	1.8
合 計		31,755,816	31,640,998	114,818	0.4

本年度における一般会計からの繰入金については、収益的収入は1,086万円で、前年度に比べ24万円(2.2%)の減少、資本的収入は2,089万円で、前年度に比べ36万円(1.8%)の増加となっており、合計は3,175万円で、前年度に比べ11万円(0.4%)の増加となっている。

(4) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度における資金の増加又は減少の状況を、業務活動、投資活動及び財務活動に区分して表したものである。

本年度のキャッシュ・フロー計算書は、次表のとおりである。

キャッシュ・フロー計算書

区 分		30 年度	29 年度	増, 減 (△)
業務活動によるキャッシュ・フロー		円	円	円
	当年度純利益	△ 17,792,811	△ 18,406,253	613,442
	減価償却費	34,872,589	34,872,589	0
	資産減耗費	0	420,500	△ 420,500
	長期前払消費税償却	3,813,391	3,813,391	0
	長期前受金戻入額	△ 20,893,169	△ 20,700,227	△ 192,942
	受取利息及び配当金	△ 12	△ 7	△ 5
	支払利息及び企業債取扱諸費	10,537,849	10,899,291	△ 361,442
	小 計	10,537,837	10,899,284	△ 361,447
	受取利息及び配当金	12	7	5
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 10,537,849	△ 10,899,291	361,442
計 (A)	0	0	0	
投資活動によるキャッシュ・フロー	一般会計からの繰入金による収入	20,893,169	20,531,727	361,442
	計 (B)	20,893,169	20,531,727	361,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 20,893,169	△ 20,531,727	△ 361,442
	計 (C)	△ 20,893,169	△ 20,531,727	△ 361,442
資金増減額 (A + B + C)		0	0	0
資金期首残高		300,000	300,000	0
資金期末残高		300,000	300,000	0

業務活動によるキャッシュ・フローにおいては、資金の増減はない。投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、一般会計繰入金の収入により 36 万円の資金増加となっている。一方、財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、企業債の償還により 36 万円の資金減少となっている。

この結果、資金の増減はなく、本年度の資金期末残高は期首残高と同額の 30 万円となっている。

5 む す び

(1) 運営状況の概要について

本事業については、国立病院機構岡山市立金川病院の建物の維持管理に伴う経費や、企業債の元利償還金等の支出及びそれらに対応した負担金収入などの経理並びに建物等の減価償却費の費用計上などの会計処理を行っている。

(2) 経営成績について

本年度の経営成績についてみると、総収益 3,175 万円、総費用 4,954 万円で、1,779 万円の純損失を生じ、累積欠損金は前年度末の 2 億 1,418 万円から 2 億 3,197 万円へと増加しているが、主な要因は、減価償却費によるものである。

(3) 意見・要望

国立病院機構岡山市立金川病院は、内科、外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科の 5 科、病床数 30 床の体制で、救急告示病院にも指定されており、地域医療を担っている。

指定管理者である独立行政法人国立病院機構との連携を密にし、引き続き地域医療に貢献されるよう要望する。